

大乘持経寺報

令和7年2月号
第26号

住職指導

「如月」の時節を迎えました。今月の初旬には立春があり、暦の上では春を迎えます。でも気候は一年で一番寒いです。そんな毎日ですが、講中の皆様には、御信心を根本にお仕事に学校にと御精進の御事と拝察いたします。皆様の日々の努力が実っていくように朝夕の勤行で御祈念しています。これからも皆様の頑張りを御願いたします。

さて、狛下様は今年の元旦の砌に「本年『活動充実の年』にあたり、講中が異体同心して勇猛果敢に折伏を行じ、一天広布に向けて前進されますように願います。」(要旨)と仰せです。

狛下様は「私達の本当の幸せは折伏行に有る。」と仰せです。皆様にはでき来だけ早い時期に一人の折伏が成就できるように頑張らしましょう。今月も一同して、1時間の唱題をいたしましょう。以上

『役員挨拶』 講頭 大倉 信浩

皆様、こんにちは！講頭の大倉です。役員を代表してご挨拶を致します。

年初に立てた目標への一步を踏み出せたでしょうか。「ひとは考えたこと、考え続け習慣化されたこと以外は行動出来ない」これが原理原則です。

目標とは、限られた人生の時間と脳の考えられる容量を出来るだけ、無駄なく使うための目印ではないでしょうか。

日如上人狛下様は「成仏とは人格の完成形」と御指南です。我々の人生の目的に向かって、今日から目標達成に向けて悔いのない2025年にして参りましょう！

『成人式に参加して』 女子部 秋元 杏

1月13日、朝勤行の後、成人式を執り行っていました。早朝にもかかわらず、ご参詣いただいた皆様にもお祝いしていただき、とても嬉しかったです。

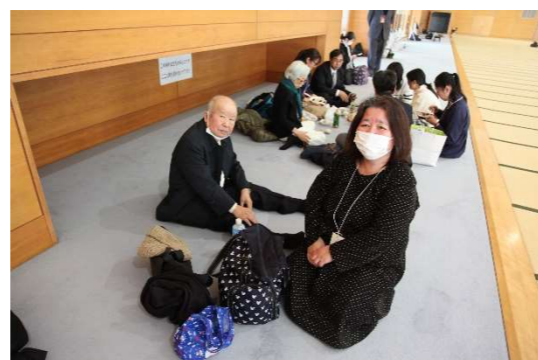
ありがとうございました。

御住職様より、「これからの人生、どんなに大変なことが起こっても、この御本尊様を保つ人は必ず乗り越えていけると種々解かれています。ですから、これからも淡々と、生涯御信心を保ち続けてくださいね。」とご指導いただきました。これからも頑張っていこうと思います。

『初登山会に参加して』 婦人部 吉野 順子

父と参加しました。山内をゆっくり歩いて奉安堂へ向かい、美しい情景を写真に撮り、海外信徒の友人にLINEしたところ、とても喜ばれました。友人はご家族で秋の御登山を計画しているそうです。

生まれる国土は「願兼於業」と聞いた事がありますが、神奈川県から総本山へ参詣できる事に感謝し、縁ある人をお連れしたいと思います。



『新年勤行会に参加して』 壮年部 崎前 茂

『十字御書』で、大聖人様は元旦に参詣する功德を「徳もまさり、人にも愛される。」と仰せです。「一年の計は元旦にあり。」と言いますが、僕の今年もそうであればいいなと思います。

ところで僕の大好きな御書の一節があります。

『四条金吾殿御返事』の「たゞ女房と酒うちのみて、南無妙法蓮華経となへ給へ。」との御文です。

好きだなあこの一節。僕はお酒は好きですが、決して大酒飲みではありません。のむのが好きなんです。そこで思い立ったんです。僕も「南無妙法蓮華経となへ」てみよう。何かしている時、何もしていない時、いつでもどこでも、たくさんたくさん一遍でも多く、お題目を唱えるようにしました。

もう二ヶ月くらい続けています。食欲も増し、元気にもなり、明るくもなりました。これからも続けます。

ともあれ元旦に参詣できて良かったです。

『新年勤行会に参加して』 婦人部 池本 史子

新しい年が明け、お寺様へ参詣させて頂きました。

昨年の反省を振り返り自分の懈怠を認め、また、今年も新たに大願成就のご祈念をさせて頂きました。

何かと理由をつけてやらずじまいだった自分を見つめなおし「活動充実の年」の目標をしっかりと立てました。「自分を律し、同志と学び、共に活動し、折伏に邁進していく。」と御本尊様にお約束させて頂きました。

『新年勤行会に参加して』 女子部 財津 萌

あけましておめでとうございます。

天候も良く、温かかったため、とても気分の良い初参りが出来ました。

もう既に新年から体調崩してしまいましたが、ご住職が仰せられていたように「去年のことは忘れて、今年今年と思って。」信行にも、健康にも、気合を入れて頑張っていきたいと思います。

『七草粥をいただいて』 婦人部 中川 香代子

御住職様、滋味深い七草粥、ありがとうございました。

春の七草の香りが口いっぱいに広がり、心と体が癒されました。一年間の無病息災を願い、大切に有り難くいただきました。

『七草粥をいただいて』 少年部 副部長 矢尾 美咲

1月8日の唱題会終了後、ご住職様より大変美味しい七草粥を頂戴しました。本当にありがとうございます。

古来より無病息災を願う意味が込められている七草粥ですが、コロナや新たな感染症が蔓延する昨今、ご住職様が常にご指導くださる「淡々と信心を貫く」ためにも、まずは健康を大切に、一年を通して精進してまいりたいと改めて感じました。

